

# オリーブの会通信

2024年1月20日第38号 (通巻44号)  
オリーブの会  
大阪府豊能郡能勢町平通101-453  
tel/fax:072-737-9454  
mail: oribunokai@gmail.com  
facebook: oribunokai

## مجموعة الزيتون



速報：1月26日国際司法裁判所は、南アメリカのジェノサイドの訴えを認め、イスラエルにジェノサイドをさける措置を求めたが、停戦には言及しなかった。

## 国際法廷に訴えられたイスラエル ジェノサイドをやめろ

国際的な世論がイスラエルのジェノサイドを批判する中で、イスラエルは、米国、ドイツを後ろ盾として、ガザでのジェノサイドを拡大している。こうした中、南アフリカが国際司法裁判所にイスラエルをジェノサイドで訴えた。南アフリカは、イスラエルのジェノサイドを禁止する条約違反と即時の停戦をもとめて訴えました。1月24日の時点で、25700人が殺害され、その70%が女性と子供である。

この動きは、国連の安保理事会が機能不全に陥り、総会での停戦をもとめる決議がなされても、停戦に反対する米国、英国、ドイツなどの支持を背景にイスラエルは、ジェノサイドを続けている。

この状況の中で南アフリカの行動に多くの国が賛同した。

オランダのハーグで、1月11日開催された法廷では、南アフリカが、具体的な例を挙げて、イスラエルのジェノサイドを証明した。それは、イスラエルの具体的な行為だけでなく、イスラエルの指導者たちの発言をあげて、そのジェノサイドの意図を明確にした。

翌12日に行われたイスラエル側の反証では、ジェノサイドで裁かれるべきは、ハマスであり、イスラエルは国際法にのっとって戦闘していると主張し、具体的な反証ではなく、そのようなことをやっていないと主張する

だけでした。

通常はジェノサイドの判定を裁判所が下すのは、1から2年くらいかかるが、南アフリカが停戦を求めていることには、すぐに判定するだろうと言われています。

イスラエルは平気でジェノサイドがないというだけでなく、ガザに人道的危機など存在しないと主張しています。また、イスラエルのラビの一人は、人道的援助は、人間には必要だが、ガザはそうではないといている。イスラエル指導者たちは、ガザのパレスチナ人を野蛮人として見るアパルトヘイトの立場にたっているために現実が、痛みをもって見られていない。

イスラエルは、ハマスの10月7日の攻撃がジェノサイドであると主張し、ガザでのイスラエル軍による民間人の虐殺も、ハマスが民間人を人間の盾としているからと正当化しています。

しかし、この間、本通信でも明らかにしているように、イスラエルのいうハマスによるジェノサイドの主張の根拠も疑わしいものである。ハマスはナチと同じでユダヤ人を消滅させようとしているとし、また、イスラム国やアルカイダと同じ、としているが、この二つはイスラエルを攻撃したことはなく、アラブ諸国やイランを攻撃し、イスラエルと共通の利害をもっている。この間も、イランで100人の犠牲者がでた爆破事件もイスラム国が責任を表明しており、かれらがだれの仲間は明確です。

ハマス(イスラム抵抗運動)は、第一次インテッファダの中で登場したパレスチナの解放を目指す抵抗組織である。その前身はムスリム同胞団(Jamā'at al-Ḍiwwān al-Muṣlimūn/Muslimīn)であり、第一インテッファダまでは、パレスチナ解放闘争に敵対する反動組織であった。PLOに対抗する勢力としてイスラエルも支援していた。

しかし、PLOのパレスチナ抵抗勢力が、82年にベイルートから撤退し、領外から占領地へ武装闘争を行うことが困難になり、また、ファタハとその他のパレスチナ勢力が分裂した。弱体化した領外のパレスチナ勢力に変わって、占領地内の民衆が立ち上がった。その時に結成されたハマスは、慈善団体を基盤に社会に浸透してきた。そして、占領に対する抵抗闘争を開始した。第一次インテッファダで、イスラエルを追い詰めたにも関わらず、湾岸戦争でPLOがイラクを支持し、そのイラクが敗北し、政治的にも弱体化し、その結果オスロ合意へと進むことになり、PLOは、イスラエルの生存権を認める代わりに、西岸とガザに暫定自治政府を置くことになった。ハマスは、これに反対した。当然自治政府の最初の選挙は、参加しなかったが、2006年の選挙に参加し、ハマスが第一党になり、政府を組閣した。イスラエル、米国、欧州は、ハマスが政権をとることを嫌い、ファタハのクーデターを後押しし、西岸は、ファタハ、ガザはハマスという分裂状態が作りだされた。それ以降選挙は行われていない。

イスラエルは、ガザに対して、2007年以来封鎖を続けおり、天井のない世界最大の監獄と呼ばれてきた。10月7日のハマスの奇襲攻撃は、突然に起こったものではなく、2023年の初めから、ネタニヤフ極右政権によるヨルダン川西岸に対する攻撃で、10月までに200人以上が殺され、また、西岸への入植者たちの暴力が拡大し、聖地であるアルアクサモスクへのパレスチナ人の礼拝の制限と入植者たちが自由にふるまい、パレスチナの怒りが高まっていたことが背景にあります。また、もう一方では、サウジとイスラエルの正常化の動きが強まり、パレスチナの中東での孤立化の恐れがあった。今回の作戦の特徴は、ロケット攻撃だけでなく、壁を越えて入植地に侵入し、捕虜を捕まえることにあり、これによってパレスチナ人の獄中者の解放を勝ち取るのが目的であった。イスラエルが言うように無差別に大量にイスラエル人を殺すことが目的ではなかった。ハマス自身がアルアクサの洪水作戦を次のように説明している。「1. 10月7日のアル・アクサ洪水作戦はイスラエルの軍事施設を標的とした。そして、敵の兵士を逮捕しようとした。そ

れは、イスラエル当局に捕虜交換によりイスラエルの刑務所に拘束されたパレスチナ人数千人を解放するよう圧力をかけることを目指すものであった。したがって、作戦はイスラエル軍のガザ地区、駐留イスラエル軍のガザ周辺のイスラエル人入植地の近くにある拠点を破壊することに重点を置いた。

2. 民間人、特に子供や女性、高齢者への危害を避けることにアル・カッサム旅団の戦闘員全員は宗教的かつ道徳的な義務を負っています。繰り返しますが、パレスチナ人の抵抗は完全に規律正しく行われており、作戦中はイスラムの価値観に忠実だった。

そして、パレスチナ戦闘員は占領軍兵士とパレスチナ人に対する武器を携行した人々だけを標的にした。その間に戦闘員は民間人への危害を避けることに熱心だったにも関わらず、抵抗兵器が正確さを持たないという事実また、仮に民間人が対象となる事案があった場合には、それは偶然に、占領軍との対決そしてその過程で起こったものである。」(『われわれのナラティブ、アルアクサ洪水作戦』ハマスメディアオフィス、2024年1月)

ハマスは、パレスチナ人を代表していないと欧米はいうが、ガザ、西岸の両方で10月7日以降も支持が拡大している。イスラエルは集団懲罰で、ハマスへの支持を減らそうとしたが、反対の結果となっている。西岸でもイスラエルが蛮行を繰り返すたびに、抵抗運動への支持が強まっている。

イスラエル軍が地上戦でハマスの基盤を破壊したと宣言しながら、現在も、抵抗と、イスラエルへのロケット攻撃は継続している。ハマスを壊滅させるというイスラエルの目的は達成されず、「人質」の解放も実現していない。

イスラエル国内でも、停戦を求める声が強まっている。さらに戦争の長期化は、ネタニヤフが権力を維持するためであり、早期の選挙求める声が強まっている。ハイファでイスラエル共産党を中心にしたユダヤ人とイスラエル内のアラブ人による停戦と平和を求めるデモが登場している。イスラエル内のアラブ人も占領地と同じように弾圧され、このような平和デモに参加することが困難であった。

また、2国家解決方式を最終的な解決と米欧はいうが、ネタニヤフは、明確に否定しており、野党も、軍事外交を持たない、現在のようなパレスチナ国家との共存しか考えていない。イスラエルが変わらない限り、そのような解決方式はなりたない。



国連が機能不全に陥っている現在、虐殺を止められるのは、国際世論をたかめていくことであり、南アフリカの国際司法裁判所へのイスラエルの訴追は、判決には強制力がなくとも、国際世論をさらに動かすものになる。

「ジェノサイドをやめろ、即時の停戦を」訴える必要がある。



権利と説明責任 2024年1月19日エレクトリック・インテファダ

ノーラ・バロズ・フリードマン

国連によると、イスラエルは計画されているガザへの人道援助・物資補給ミッションの75%以上へのアクセスを拒否している。

国連人道問題調整事務所（OCHA）は水曜日、1月の最初の2週間に完全または部分的に達成されたのは29のミッションのうち7ミッション（24%）のみであると報告した。

OCHAはさらに、「割り当てられたルートの実行不能」と検問所での「過度の遅延」により、追加の2件の援助割り当てが未完了のままになったと付け加えた。

ガザ北半分の給水施設への燃料や保健センターへの医薬品の配布などの任務の約95パーセントが「イスラエル当局によって立ち入りを拒否されている」と国連は述べている。

OCHAは、「水、衛生、衛生のための燃料の不足により、健康と環境への危険が高まる」一方、医薬品の不足により、北部では「部分的に機能している6つの病院の機能が低下」と報告した。

イスラエルが現在行っているガザ北部への人道援助活動の阻止は、前月に比べて「急増している」と国連は警告した。

同時に、水曜日に南部のラファ交差点とイスラエルとの南東境界にあるケレム・シャローム（カレム・アブ・サレム）商業交差点を通してガザ地区に入ったのは、食料、医薬品、その他の援助物資を積んだトラック98台のみだった、と国連は付け加えた。

10月7日以前は、毎日平均500台のトラックがガザに入っていた。このトラックの台数は、2007年以来イスラエルが沿岸飛び地に課している厳格な封鎖の下で生き延びようと奮闘しているパレスチナ人にとって必要な最低限のものだった。

先週、世界食糧計画、世界保健機関、国連児童基金ユニセフの理事らは共同声明で、「飢餓の危険が高まる中、ガザへの人道援助の流れの根本的な段階的変更が緊急に必要な」と述べた。そしてより多くの人が致命的な病気の発生にさらされることとなります。」

国連パレスチナ難民機関のフィリップ・ラッザリーニ所長は1月13日、「ガザの危機は、人間性を奪う言葉と思想と、食料、水、燃料の戦争手段としての使用することによって悪化した人災である」と述べた。

「人道支援活動は急速に世界で最も複雑かつ困難なものの一つになりました。その主な原因は、ガザ地区への援助物資の入国手続きが煩雑であることと、進行中の敵対行為を含め、援助物資の安全で秩序ある分配に対す

## オリーブの会通信 第38号(通巻44号)

る無数の障害によるものである」とラッザリーニ氏は語った。

ユニセフのテッド・チャイバン副事務局長は、ガザへの3日間の訪問後、木曜日、「状況は壊滅的な状態から崩壊寸前まで進んだ」と述べた。

同氏によると、ガザ地区北部に住む数十万人のパレスチナ人はきれいな水や食料にアクセスできず、1月にはユニセフの護送団は一隻もこの地域への到着を許可されていないという。

チャイバン氏は、イスラエルを侵略者として名指しはしなかったものの、「激しい砲撃」の停止を求め、「立ち入り制限を解除することが不可欠」であると述べた。

「私たちは、あふれんばかりのニーズに応えるために、ストローで援助を滴下しようとしているのです」と彼は語った。

ユニセフは「ガザ地区は子どもにとって世界で最も危険な場所であると述べている。私たちはこれは子供たちに対する戦争だと言いました。しかし、これらの真実は伝わっていないようです。」

### イスラエルの欺瞞

一方、イスラエルの軍事占領の官僚部門である COGAT\* は、ガザには人道危機はなく、援助に制限を設けていないと主張し続けている。

\* 領土における政府活動調整官 (Coordinator of Government Activities in the Territories, COGAT) は、イスラエル政府、イスラエル国防軍、国際機関、外交官、パレスチナ自治政府間の民間問題の調整に携わるイスラエル国防省の部署である。1981年から1994年の間、ヨルダン川西岸地区とガザ地区を統治していたイスラエル民政局 [要出典] の主要機関であり、ほとんど消滅している。

COGAT は、ヨルダン川西岸の C 地区およびガザ地区に対するイスラエル政府の政策を実施する責任を負っている。さらに、COGAT は居住区画とインフラに関する文民当局を構成し、ヨルダン川西岸におけるイスラエル入植地のニーズに対応する責任を負っている。COGAT は、人間の資質と先端技術を融合させた知識の中心的な役割を担っている。ヨルダン川西岸地区とガザ地区のパレスチナ人に対する政府部門、国防総省、治安部隊の活動を調整している [1]。

「私の理解する限り、そして私たちが実施したすべての分析によると、ガザには飢餓はなく、住民が飢えているわけではないことは確かです」と COGAT 職員 (A 大佐) は最近、テルアビブの新聞ハアレツに電話で語った。「飢餓に関する詳細な国連報告書を読んだことがない」と豪

語する大佐は、アラブ人が食料不足に陥っている理由として、アラブ人に対する人種差別的な考え方を挙げた。

「この人たちはアラブ系ガザ人であり、その DNA は食料に関しては確かに溜め込む傾向にあるということを忘れないでください」と COGAT 関係者は語った。

COGAT を率いるガッサン・アリアン氏は、10月10日にパレスチナ人を「人間の獣」と表現した。

同機関は、パレスチナ人に対する人道主義を主張するイスラエルの国際司法裁判所における主な情報源となっている。

イスラエルの文化・スポーツ大臣ミキ・ゾハールは、北部のパレスチナ人に物資が届かなくなっていることを認めた。「物資はそこには届かないが、それは当然だ」と彼はハアレツに語った。

今週、フランスとカタールの当局者は、「ガザ地区のイスラエル人人質に医薬品を届けるとともに、ペールへの追加援助を提供する」という合意をイスラエルとハマスの指導者と仲介したと発表した。」と AP 通信が報じた。

水曜日、慢性疾患を抱えるイスラエル人捕虜 45 人のための医薬品がラファ交差点に到着した。

ガザのパレスチナ保健省報道官、アシュラフ・アルケドラ博士は今週、ガザ地区全体で 35 万人の慢性疾患のパレスチナ人患者が薬を飲んでいないと述べた。

同氏は国際機関に対し、医薬品を直ちに提供するよう求めた。

アル・ケドラは木曜日、「イスラエル占領軍は、保健部門を継続的な崩壊状態に保つことを目的として、依然として医療援助の量、質、コースを管理している」と述べた。

アル・ケドラは、ガザ地区に流入した医療援助物資の目録を作成した後、「残念ながら、使用できるのは 30 パーセント未満だ」と説明した。これは、多額の援助が私たちの必要なニーズを満たしていないことを意味します。」

Nora Barrows-Friedman は、The Electronic Intifada のスタッフライター兼副編集長であり、『In Our Power: US Students Organize for Justice in Palestine』(Just World Books, 2014 年) の著者です。



## イスラエルの大量虐殺事件の意図を証明するのは難しくない

イスラエルによる大量虐殺の扇動を示す 500 件以上の声明のデータベースは、大量虐殺の意図を示す十分な証拠を提供する。

ラズ・シーガル

ストックトン大学のホロコーストと大量虐殺研究の准教授

ペニー・グリーン

ロンドンのクイーン・メアリー大学法学教授

2024 年 1 月 14 日発行 (アルジャジーラのHPより)

イスラエルのベンヤミン・ネタニヤフ首相は、2023 年 10 月 28 日にテルアビブでパレスチナ人を聖書のアマレク人に喩える演説を行う [ファイル: アビル・スルタン / プール、ロイター経由]

今週、国際司法裁判所 (ICJ) は、ガザへの軍事攻撃を巡るイスラエルに対する暫定措置を求める南アフリカの正式な要請に対する公聴会を開催した。南アフリカの法務チームは、イスラエルは大量虐殺行為を行っているため、同地区での軍事活動を停止するよう命令されるべきだと主張した。

大量虐殺という犯罪には、意図と実行という 2 つの要素があり、告発時には両方とも証明されなければなりません。イスラエルの場合、ガザ地区の明らかな荒廃は、イスラエルが実際に大量虐殺を行っているという強力な議論を生む。

23,000 人以上のパレスチナ人が大量殺害され、そのほぼ半数は子供と若者であり、さらに数千人が行方不明と

なっている。ガザ人口の 90 パーセントを占める約 200 万人のパレスチナ人の強制移住。イスラエルによる「全面包囲」の発動により、今後数カ月間に数十万人のパレスチナ人が飢餓と感染症によって殺害される恐れがある。無差別大量爆撃と住宅街全体の破壊によるガザ地区への廃棄物の堆積。病院、医師、その他の医療専門家をターゲットにする。何百もの学校、大学、モスク、教会、図書館を含む文化、教育、宗教施設の損傷と破壊、これらすべてが目に見える大量虐殺の実行であり、南アフリカの法務チームは公聴会でそれを明確に説明した。

大量虐殺の告発が行われる場合、意図を証明するのは通常より困難です。請願者は、大量虐殺犯罪の防止と処罰に関する国連条約の言葉で「国家的、民族的、人種的、宗教的集団そのものを全体的または部分的に破壊する意図」を証明できなければならない。しかし、南アフリカの法務チームが指摘したように、イスラエルの場合、その意図も十分な証拠によって明らかになっている。

この訴訟を弁論する際、彼らはパレスチナ法によって編集された新しく包括的なデータベースを利用することができた。このデータベースには、2023 年 10 月 7 日以降のイスラエル国家による大量虐殺の意図と大量虐殺の扇動を具体化する 500 件の声明が綿密に文書化され、照合されている。国家指導者、戦争閣僚、陸軍高官などの指揮権限を持つ人々、およびその他の政治家、軍人、ジャーナリスト、著名人による声明は、ガザ地区の虐殺破壊に対するイスラエルの広範な関与を明らかにしている。



大量虐殺の加害者が直接的かつ明確な方法で意図を表明することはめったにないため、裁判所は国家の行動や漏洩したメモの分析を通じてそのような意図を推測することになっている。しかし、イスラエルによるガザへの虐殺攻撃の場合、パレスチナ法のデータベースが示すように、指揮権を持つ人々が過去3か月間、虐殺に関する声明を繰り返し行っている。

彼らはレトリックでパレスチナ人の人間性を剥奪し、ガザの住民全体をイスラエルの敵のように描いてきた。入植者の植民地権力の傲慢さと、植民地権力が70年以上にわたり人を殺害し、不具にし、破壊し、追放し、屈辱を与え、投獄し、財産を剥奪してきたという認識と、米国の継続的な物質的および精神的支援によって強化され、イスラエル人は明確な態度をとっている。そして、彼らは植民地化された「野蛮人」と見なす人々に対する戦争を想像し、実行したため、彼らの虐殺の意図を恥じることはありません。

イスラエルのヨアフ・ガラント国防大臣は、10月9日の「全面包囲」宣言の中で、パレスチナ人をまさにこのように「人間の動物」と表現した。イスラエルのベンヤミン・ネタニヤフ首相は10月7日、ガザを「悪の都市」と表現し、そして12月24日、イスラエルの攻撃を「怪物」との戦いであると決めつけた。「これは野蛮人に対するイスラエルの戦いであるだけでなく、野蛮に対する文明の戦いでもある」と彼は語った。

イスラエルのアイザック・ヘルツォーク大統領は数週間前の12月5日、イスラエルのガザ攻撃は「本当に、本当に、西側文明を悪の帝国から救うことを目的とした戦争」と述べた。

ネタニヤフ首相と他のイスラエルの上級閣僚は、「西洋文明」を救うには、ガザのパレスチナ人を聖書のアマレクの人々、つまり全体として破壊すべき敵として認識されている人々であると形容し、完全に破壊する必要があることに疑いの余地を残していない。

宗教とホロコーストのこの粗野で危険な兵器化は、大量虐殺の精神状態を示しています。大量虐殺の加害者は常に、自分たちが攻撃しているグループが自分たちに生存の脅威をもたらしているとみなしているため、彼らの心の中では大量虐殺が合法的に必要な防衛手段であると

考えています。これが、ナチスが第二次世界大戦中のユダヤ人に対する虐殺攻撃をどのように理解したかであり、イスラエル人は現在、ガザでのパレスチナ人に対する虐殺をどのように見ているかです。

パレスチナ法のデータベースは、イスラエルの虐殺を推進する言語を追跡するための包括的な証拠ベースを提供します。国際法の専門家モーシェン・アル・アタールが最近述べたように、イスラエルの指揮権を持つ人々によるこの恥知らずな虐殺的言語を考慮すると、「ICJは厳しい選択に直面している」。

法律は忘却の彼方へ。」

ICJがその義務を果たし、南アフリカの要求を支持する裁定を下すかどうかはまだ分からない。いずれにせよ、イスラエルによる明確な大量虐殺とガザへの前例のない攻撃は、国際法制度におけるイスラエルの不処罰の終わりを告げ、暴力を止め、ガザのパレスチナ人を救い、イスラエルの戦争を終わらせるための闘いの新たな段階を迎えるはずである。

この記事で表明された見解は著者自身のものであり、必ずしもアルジャジーラの編集スタンスを反映するものではありません。

### ラズ・シーガル

ストックトン大学のホロコーストと大量虐殺研究の准教授

ラズ・シーガル博士は、ストックトン大学のホロコーストと大量虐殺研究の准教授であり、現代大量虐殺研究の寄付教授です。

### ペニー・グリーン

ロンドンのクイーン・メアリー大学法学教授

ペニー・グリーンは、ロンドンのクイーン・メアリー大学の法学とグローバリゼーションの教授であり、国際国家犯罪イニシアチブのディレクターです





## ガザにおける戦争の武器としてのイスラエルの飢餓利用に 対する即時行動を、世界食糧安全保障委員会（CFS）に緊急 訴え

2023年11月24日（UAWCのHPより）

私たち、以下に署名したアラブの市民社会団体は委員会の再開催に先立って11月25日にイタリアのローマで開催される世界食糧安全保障（CFS）総会に向けて、私たちは次のことを報告します。

イスラエルが飢餓を戦争の手段として意図的に利用しているという重大な問題に注意を払う必要がある。私たちは委員会に次のことを懇願します。

世界食糧安全保障はガザのパレスチナ人の食料への権利を支援し、恒久的な停戦を要求し、イスラエルによるひどい飢餓の利用を非難すること。

ラファ国境の十分な開放を確保し、無条件の人道援助を行い、飢餓、食糧問題を戦争兵器として使っていると、イスラエルの犯罪の責任を追及する。

制裁の奨励などを通じて人道に反する行為。CFSは、この非良心的な問題に対処するために直ちに行動を起こす責任がある。

イスラエルはガザ地区でパレスチナ人に対して大量虐殺戦争を行っている。10月7日以降、ガザでは少なくとも1万5000人が殺害され、少なくとも3万3000人が負傷した。

国連事務総長は、民間人の死亡規模は次のように述べています。彼の在任中は「前例のない」ものでした。

OCHAはイスラエルの暴力により170万人以上が国内避難民になっているとの報告。攻撃を受け、適切な栄養やきれいな水にアクセスできなくなります。10月7日までに、ガザの人口の大部分は食糧不安にありました。今、ガザ地区全体が230万人の人口が飢餓の危険にさらされています。

イスラエルはガザの完全包囲による爆撃を行っている。イスラエルのヨアヴ・ギャラント国防大臣は、イスラエルが国民を飢えさせる意図を明確に述べている。

2023年10月9日に次のように述べた。

「ガザでは電気も食料も水も燃料もなく、すべてが閉鎖されています。私たちは人間は動物と戦っており、私たちはそれに応じて行動します。」

10月7日までは、毎月約10,000台のトラックに人道支援物資と商業物資がガザに入る予定だった。

しかし、先月、イスラエルが許可したのはトラック1,479台分のみだった。

人道支援物資がエジプト国境を通過してガザに流入

10月と11月22日では大幅な減少を示しており十分な量の物質の侵入を防ぐだけでなく、人道支援による食糧調達を、イスラエルの攻撃は意図的に標的にしている。重要なインフラが崩壊し、ガザの食料サプライチェーンが破壊され、その結果、ガザの全人口に対する大規模な食糧不安。民間人、ガザの人口の半分以上である子供たちも含めて、暴力の差し迫った脅威だけでなく、飢餓にもさらされています。

OCHAは食料安全保障に対する無数の攻撃が文書化されており、その中には、農地、港、パン屋、そして水へのアクセス。これらのパレスチナ人があらゆる手段にアクセスするのを意図的に阻止するための残忍な攻撃がある。家族が他の食べ物がないときに食べる魚を捕まえた後、パレスチナ漁船を標的にして破壊するまでに至った。

報告書と反駁の余地のない証言は次のことを証明しています

飢餓を手段として利用したイスラエルによる計画的か

## オリーブの会通信 第38号(通巻44号)

つ組織的な戦争の戦略。イスラエルはガザのパレスチナ人の間で大規模な飢餓を引き起こしている

これらの戦術は決して新しいものではありません。ガザはハマス統治下にあった2007年以来イスラエルによる全面包囲が続き、ガザ地区は経済崩壊寸前にまで至った。ガザではイスラエルが原材料および物資の持ち込みを管理がし、水へのアクセスと使用も管理していることに加えて、電力の供給も、農業、生産、へのアクセスが制限されているために経済に深刻な影響を与えている。

基本的な生存と健康のニーズに加えて、インフラストラクチャも必要です。さらにイスラエルはガザ地区内に「緩衝地帯」または「立ち入り制限区域」(ARA)と呼ばれるものを課す。ARAはガザの耕作可能な土地の約35%、ガザ地区の85%をカバーしています。

海域、これらの地域を完全または部分的に、パレスチナ人にアクセス不能にする

イスラエルの行動はジュネーブ条約で規定されている原則とその基本的な柱、国際人道法基本的原則に著しく違反している。飢餓を戦争の手段として利用することは、イスラエルは倫理規範と人権に対する非難されるべき違反を構成する。

即イスラエルの行動派、時の非難と救済を要求する基準。「飢餓から解放される世界」を目指して、世界食糧安全保障委員会は自らを「最前線の包括的な国際および政府間プラットフォーム」として機能させ、「飢餓の撲滅と食料安全保障の確保」に向けて協力し、直ちに次のことを行う義務と責任があります。

介入し、ガザのパレスチナ人にも同じ権利が与えられるようにすることです。

その使命に従って、私たちは、世界食糧安全保障委員会に次のことを要請します。

### ●サポート

ガザのパレスチナ人の食料へのアクセスは権利である。イスラエル軍の包囲と封鎖下での戦争状態では、この権利の行使は不可能である。

### ●擁護者

「人道的一時停止」は、爆撃が再開されることを意味します。恒久的な停戦を強く求める。

。

### ●公的に

イスラエルによる戦争兵器としての飢餓の利用を非難し、民間人とその食糧システムを保護することの緊急性を強調する

### ●確実にする

エジプトとのラファ国境の開放と無条件の入国を認め、食料、水、医療支援を含む十分な人道援助をすべての人に提供する

### ●ホールド

イスラエルは人道に対する罪に対して責任を負っている。イスラエルへの制裁の促進しなければならない。

私たちは、CFSの「近東および北アフリカ」地域加盟国、アルジェリア、エジプト、イラク、ヨルダン、クウェート、レバノン、リビア、モーリタニア、モロッコ、オマーン、カタール、サウジアラビア、スーダン、チュニジア、アラブ首長国連邦とイエメン - アラブ人の呼びかけに耳を傾け、ローマで開催される次回の本会議で直ちに行動を起こすこと。私たちが特に呼びかけるのは、エジプトとモーリタニア、CFS執行部の現在の地域加盟国2か国である。

ガザと国境を接するエジプトは、十分な食料を確保することに特に責任を負っている。ラファ国境を通った人道援助物資と食料の入国そのような取り組みを推進してください。

私たちは、世界食糧安全保障委員会が次のような立場で立つことを強く求めます。

この進行中の危機に直面して、正義と人道の灯火となり、ガザの人々の苦しみを軽減するための迅速かつ断固とした行動。国際社会は飢餓を兵器として使用することに終止符を打たなければならない。戦争を阻止し、ガザの人々が食糧と資源に確実にアクセスできるようにすること彼らは緊急に必要としています。

心から、

レバノンの農業運動 - レバノン

農業開発のためのアル・アード -

パレスチナ

ビサン研究開発センター -

パレスチナ

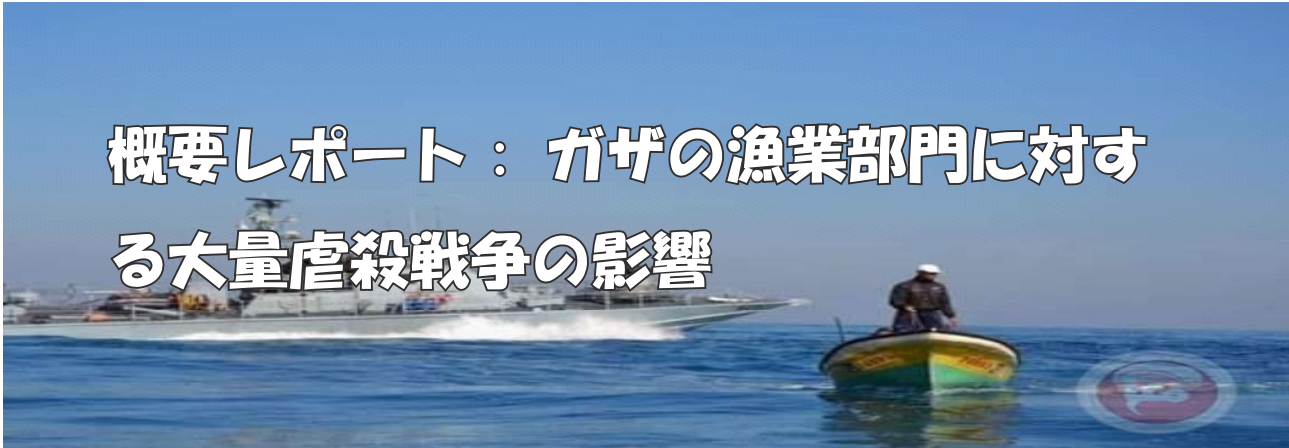
環境開発のためのディビーン - ヨルダン

エル ナディーム センター - エジプト



国立農業セクター連盟 -  
モロッコ  
独立教師組合 - エジプト  
100万人の農村女性と土地のない人々 - チュニジア  
ムワタナ人権擁護 - イエメン  
フェニックス持続可能な開発センター -  
ヨルダン

エジプト難民プラットフォーム (RPE) - エジプト  
パレスチナの促進イニシアチブ  
世界対話と民主主義 (MIFTAH) - パレスチナ  
チュニジア人権連盟 - チュニジア  
農業労働委員会連合 (UAWC) -  
パレスチナ



2023年11月12日 (UAWC)

導入：

ガザで続く大量虐殺戦争

10月7日から65日間にわたり、戦争へとエスカレートした。前例のない規模の破壊と意図的な破壊行為を特徴とする絶滅攻撃目標戦略。この戦争は悲劇的に18,000人の命を奪った。5万人以上が負傷しており、その70%が子供と女性だ。

惨状は人的被害にとどまらず、60%以上が被害を受けた。ガザの建物は破壊され、1万人以上が行方不明になり、さまざまな地域にわたるインフラの破壊。

この戦争は無差別である。その残虐性だけでなく、民間人を組織的に標的にしたことによっても、インフラ、特に食料生産に不可欠なインフラ農業および漁業部門を標的にしている。この件におけるイスラエル軍の戦術、恐ろしい戦争は、社会を混乱させ破壊しようとする集中的な努力を示しています。それによってガザの存続そのものを危うくする

人口。

現在の状況で最も懸念されるのは、ガザの農業セクターが直面している破壊である。食糧生産の根幹を攻撃する。。この惨状は次の標的を含む、温室、農地、水道網、灌漑用井戸、農場、農道、羊、家禽などの畜産場開いた

ものの破壊。牛もその70%以上が殺処分されている。最も重要なのは、何千人もの人々の主要な生計と食料源である漁業部門は深刻な影響を受けましたことである。

イスラエル軍による包括的な封鎖の発動

イスラエル戦争大臣はこの状況を悪化させ、軍事行動によって食料、水、電気、燃料などの必需品のガザへの流入を厳しく制限した。

この封鎖は戦争戦略の重要な要素であり、効果的に利用されます。飢餓を武器とする——これは戦争における飢餓の使用を明確に禁止している国際法に著しく違反する戦術である。

その結果生じるガザの状況

飢餓に似ており、100万人以上のパレスチナ人が悲惨な状況に直面している。必需品が不足し、憂慮すべき規模の人道危機を引き起こしています。

漁業部門は壊滅状態にあり、漁業のかなりの部分が漁船団が破壊または損傷し、すでに不足している食料がさらに減少する。資源を失い、何千人もの漁師の生活に影響を与えています。

この報告会の目的は、この撲滅戦争が漁業分野に具体的に与えた影響について考察する。ガザ、漁民とより広範な人々が直面する課題を強調する。これらの極端で悲惨な状況下での食料安全保障への影響がある。。

## オリーブの会通信 第38号(通巻44号)

漁業分野に焦点を当てる：

### ガザの漁業部門

パレスチナ経済の重要な柱はイスラエルの攻撃によって破壊された。この分野は単なる経済活動ではありません。それは人にとってのライフラインです。

農業省の2022年のデータによると、この部門は4,054人を超える漁師を雇用し、関連する数百の仕事をサポートしています。

魚商人、整備士、電気技師、造船業者なども含まれます。釣り具の販売店と、これらの仕事は、重要なネットワークを形成し、家族とコミュニティを維持します。漁業は経済的価値を超えて、この部門はパレスチナ人の食糧安全保障を確保する上で極めて重要な役割を果たしている

人々は魚を通じて必須動物性タンパク質を供給しています。2021年、ガザはパレスチナ人の中央統計局のデータによると、ストリップでは約4,660トンの魚が生産された。地元の議会は漁業部門の統計その経済性が重要であるとした。強調そして経済性。直面した破壊は経済に打撃を与えるだけでなく、しかしそれはまた、ガザの文化的、社会的構造に深く切り込み、脅威をもたらします。

### 重要な漁業分野

ガザ経済の一部であるガザ地区は、現在のイスラエル戦争により深刻な被害を受けている。主な調査結果は次のとおりです。

### 全体的なダメージ：

ガザの港にいる漁船の約70%は破損しています。漁船計900隻が被害を受け、約630隻のボートに大きな被害。ラファの漁船も大きな被害を受け、約30隻のボートが被害を受けた。

ガザの港にある漁師1,800人が所有するすべての魚網が被害を受けました。

### 漁師の条件：

ガザには4,054人の漁師がおり、そのうち2,200人がガザ北部にいる。10月7日以来、これらの漁師たちは漁をすることができなくなった。漁師たちは非常に厳しい生活を送っている

漁具やボートの損傷による状況。

中南部の漁師たちは同様の状況で直面している。沿岸で漁をして命を危険にさらしている人もいます。

。特定の領域：

ガザ市：漁業部門の98%は影響を受ける。大型漁船約60隻、小型船約400隻、漁師の部屋や漁師の部屋なども破壊または損傷されています。

彼らの装備。

ラファ：ボート4隻の破壊と20スマに大ダメージすべてのボート。

デリ・アル・バラ：31隻のボートが完全に焼かれ、20隻以上のボートが部分的に損傷した。

死傷者と損失：

約20人の漁師が命を落とした。漁業インフラの大幅な破壊、港や保管施設も含まれます。

釣りの評価

ガザ地区：被害と影響

小型ボート20隻に重大な被害。

デリ・アル・バラ：ボート31隻の破壊と20隻以上のボートが部分的に損傷。

死傷者と損失：

推定20人の漁師が悲劇的に漁船を失った。戦争のせいで港や港などの漁業インフラ、保管施設は大幅に破壊されました。

結論：広範囲にわたるイスラエル戦争がガザの漁業部門に与える影響

そこに広がる厳然たる現実

この報告書は、現在進行中の大量虐殺戦争が世界にもたらした壊滅的な影響を示している。

ガザの漁業部門。情報は次のことを認識することが重要です。

入手可能な資料は広範囲に及ぶものの、継続的な砲撃のため不完全なままである。

そして破壊。農業労働委員会連合が収集したデータと洞察は充実していますが、まだ発展途上であり、今後とも発展する可能性があります。

現在報告されているよりもさらに深刻な状況が明らかになります。

ガザの漁船団の70%、4,000人以上の漁民が直面する悲惨な状況、漁業インフラへの広範な被害がセクターの全体像を描かなければならない

人命が失われ、海に行けなくなり、かつて繁栄を誇ったガザの経済的・文化的基盤の崩壊。何千人もの人々の

生活だけでなく、食糧安全保障や地域全体の文化的アイデンティティの破壊をもたらす。

この戦争は当面の被害をもたらすだけでなく、長期にわたる影響を及ぼします。

ガザの漁業部門の将来に影を落としている。この戦争の影響は深刻かつ多面的であり、生活のあらゆる側面に影響を及ぼします

農業労働委員会連合としては進行中の被害と課題を記録し続けており、実際の惨状の範囲ははるかに広範になる可能性が高いことがますます明らかになっている

漁業の回復力、このような圧倒的な逆境の中でも、コ

# パレスチナ日誌

## 7月26日

- ・ 占領軍がシャバン大臣を拘束、反定住デモ行進を襲撃
- ・ ベタでの窒息死と占領軍によるカメラ記録の押収
- ・ 司法改正によりイスラエルの病院で医師がストライキ
- ・ 抗議は最も敏感な場所にまで及んでいる。
- ・ 抗議は最も敏感な場所にまで及んでいる。
- ・ シルワン - 3人の若者が逮捕され、“Bir Ayoub 地区”を襲撃した。
- ・ 占領軍、ヨルダン川西岸地区の市民39人の逮捕を発表
- ・ ウォッチ - 兵士を伴った入植者がパレスチナ人の家を襲撃する
- ・ ウォッチ - 兵士を伴った入植者がパレスチナ人の家を襲撃する
- ・ ナブルス襲撃で殉教者と逮捕された若者

## 7月27日

- ・ 占領軍がエルサレム市民を逮捕
- ・ 過激派ユダヤ人がマアロットで“アラブ人に死を”と書く
- ・ Mondoweiss のウェブサイトガザはヨルダン川西岸に抵抗勢力を動員、その証拠は“ジェニンのロケット弾”
- ・ カルキリヤで子供が占領軍の銃弾で死亡
- ・ ハマスアル・アクサへの広範な侵入は宗教戦争の激化だ
- ・ イスラエルの裁判所が1948年領土のラス・ジャラバ住民の根こそぎ撤去を承認
- ・ ジェニンの“Al-Ayyash 大隊”が近くの入植地に向けてミサイルを発射したと発表
- ・ 暴行、殴打、逮捕 - 入植者がアル・アクサへの侵入を続ける
- ・ 深刻な違反行為と数千人の入植者がエルサレムとアル・アクサを侵害

## 7月28日

- ・ ベイタで市民10人が窒息
- ・ テルアビブで数千人が司法改革案に反対するデモを実施
- ・ ガザ国境で2日目のアル・アクサに連帯するナイト・コンフュージョン
- ・ 占領軍、礼拝する2人の若者を逮捕
- ・ 占領軍、ヘブロンで若者2人を逮捕し家宅捜索
- ・ 占領軍、ベイタの町の学校の家財道具を破壊
- ・ 運転手は逮捕された。占領軍がナブルス近郊で車に発砲
- ・ 没収の危機にあるデイル・イスティヤの土地で金曜礼拝を行う市民たち

## 7月29日

- ・ 毎週のカフル・カドゥムの行進に対する占領軍の弾圧の結果、2発の銃弾を受けた。
- ・ 暴力、犯罪、イスラエル警察の不作為の惨状に反対する1948年領土でのデモ

コミュニティは彼らの強さの証です。そして決意。しかし、実質的な支援と国際的な支援が必要です。この重要な部門を再建し、活性化させるための介入は、より緊急である。これまで。

このレポートは詳細ではありませんが、急速に進化し悪化する状況のスナップショットにすぎません。これは、継続的な監視、サポート、およびサービスの重要な必要性を強調しています。

ガザの漁業セクターが直面する深刻な課題に対処するための提唱

そしてパレスチナのこの重要な部分の存続と回復を確実にするために

- ・ 入植者がバブ・アル・アムードを襲撃、占領軍が市民を逮捕
- ・ カルキリヤ近郊で2台の自転車による追跡中にイスラエル軍兵士が負傷した。
- ・ イスラエル軍我が軍はナブルス近郊で銃撃を受けた
- ・ 入植者がエリコ西部のアラブ人アル・マリハットを襲撃
- ・ 入植者がナブルス南部の土地に放火
- ・ アル・ラムの襲撃後、占領軍との対立が勃発した。

## 7月30日

- ・ 占領軍はエルサレム市民に対し、 Beit・ハニナにある自宅の取り壊しを強要した。
- ・ 聖地のカトリック教会、キリスト教の聖域への攻撃を止めるよう呼びかけを開始
- ・ 30週目... 数万人がイスラエルでデモ
- ・ タムラ犯罪とイスラエル警察の不作為に対する抗議デモ
- ・ 占領軍、エルサレム市民を殴って逮捕
- ・ ヨルダン川西岸での対立と逮捕
- ・ レバノン南部のアイン・アル・ヒルウェ・キャンプでの衝突で1人が死傷
- ・ 今日、エジプトの派閥書記長会議が始まる
- ・ アブ・マンマル：ハマス側は会議不参加者の要求を支持し、国家計画を打ち出すことを望んでいる
- ・ エジプトのファタハとハマス、国民統合の強化を強調
- ・ 書記長会終了後、大統領は対話を完了させるためのフォローアップ委員会の設置を要請する。
- ・ 占領軍、サルフィット西方100ダんに退去と作業停止の通告を出す

## 7月31日

- ・ 停戦合意にもかかわらずアイン・アル・ヒルウェ・キャンプで衝突が続く
- ・ 逮捕と対立占領軍はヨルダン川西岸で武器を押収したと主張
- ・ 占領軍、ヘブロン南部で家屋を解体し家財を没収
- ・ アイン・アル・ヒルウェ・キャンプ：衝突が続き、死者数は9人に増加
- ・ シルワンの町に占領税務署員が押しかける
- ・ アル=エイザリヤでの占領軍との対立による窒息
- ・ 入植者、エリコ北西に入植地を設立
- ・ Beit・ウンマルでの対立による窒息
- ・ ネゲヴ... 500人のパレスチナ人が強制立ち退き、移住、孤立に直面している
- ・ アイン・アル・ヒルウェ」キャンプで再燃する衝突 停戦宣言にもかかわらず

## 8月1日



## オリーブの会通信 第38号(通巻44号)

・ネゲヴ...500人のパレスチナ人が強制立ち退き、移住、孤立に直面している

- ・死の交差点」は未明から閉鎖されている
- ・パレスチナの人権活動家が、ガザで行われている経済政策の変更を呼びかける
- ・ガザ市民がアイン・アル・ヒルウェで戦闘停止を呼びかける

### 8月2日

- ・サルフィット占領軍がデイルプロットの建物を取り壊す
- ・ガザ市民がアイン・アル・ヒルウェで戦闘停止を呼びかける
- ・占領軍がナブルス東部に侵攻
- ・ジェニン県ヤバードの町とナズレット・ゼイド村への占領軍の襲撃による負傷者。
- ・ヨルダン川西岸での逮捕 - ナブルス占領軍襲撃時の負傷者数
- ・シルワンのファタハ書記を含むエルサレムでの逮捕者
- ・アル=バクリ: アル=アクサを21回襲撃し、アル=イブラヒミで54回礼拝への呼びかけを阻止した
- ・労働組合ガザ包囲により貧困率は50%、失業率は60%に上昇
- ・ベン・ガーフィルの決定により、シルワンでタウジヒの学生を称える式典が禁止された。
- ・占領軍、エリコのファタハ副書記長の家を取り壊すと脅迫
- ・ザバブデでの占領軍との対立で負傷した若者
- ・占領軍がワディ・アル・ファアラで若者たちを追跡し、少年が骨折を負った。
- ・アル=イッサウイヤ... 家宅捜索、物品没収、召喚状

### 8月3日

- ・54 イスラエル人、司法改正を拒否して警察とのボランティア活動を凍結
- ・入植者がアル・カブナとアル・マリハットのアラブ人コミュニティを襲撃
- ・停戦後、「アイン・アル・ヒルウェ」キャンプは平穏を取り戻した。
- ・アイン・アル・ヒルウェ・キャンプで再燃する衝突
- ・負傷者 - 占領軍がヨルダン川西岸地区の市民26人を逮捕
- ・負傷者 - 占領軍がベイト・ウンマルで逮捕作戦を開始、14人の若者を逮捕

### 8月4日

- ・占領軍がヘブロン市民を逮捕
- ・占領軍がベドウィン市民を逮捕
- ・占領軍、アル=エイザリヤの青年を逮捕

### 8月5日

- ・モアイド・シャアバン大臣、毎週恒例のデイル・イスティヤ・イベントで負傷
- ・カフル・カドゥムでの占領軍との対立による負傷者
- ・占領軍によるベイト・ダジャン行進弾圧時の窒息傷害

### 8月6日

- ・犯人は殉教した。テルアビブで警備隊員が銃撃を受け重傷
- ・ヘブロン南部のアル・トゥワナ村に対する入植者の攻撃による負傷者
- ・ネタニヤフ政権に反対するデモが31週連続で更新された。
- ・占領軍、ヘブロン北部のアルアルブ・キャンプの市民を逮捕
- ・トゥルカルム南東で入植者が市民の車を襲撃
- ・アルビレ北入口で入植者が市民の車を襲撃
- ・自治政府の脅しにもかかわらず、イスラエルは経済施設の提供を拒否している。
- ・占領軍、ジェニン近郊でパレスチナ人3人を暗殺
- ・スモトリッチ、アラブ自治体への財政支援金の凍結を決定

### 8月7日

- ・占領軍はマサファー・ヤッタの市民に建築資材と発電機を没収した。

### 8月8日

- ・アメリカ、3000人の兵士の中東到着を発表
- ・占領軍、ヨルダン川西岸地区の市民28人を逮捕

・釈放直後、占領軍は釈放された囚人ムハンマド・アブ・タイエを逮捕した。

### 8月9日

- ・サルフィット以西で14件の作業・建設中止通告が出される
- ・シン・ベトは、作戦実行を計画していた人民戦線の下部組織を逮捕したと主張している。
- ・占領軍がトゥバスの元囚人2人を逮捕
- ・ラマツラでイスラエルのバスが銃撃される
- ・8年ぶりに釈放された直後に - 諜報機関がアーメド・アルバクリを逮捕
- ・サルフィット... カフル・アル・ディクで樹木を根こそぎ倒し、広範囲をブルドーザーで破壊した。
- ・シルワンの取り壊しとブルドーザー作業
- ・占領軍がシンジルの8軒の家屋の建設と作業の中止を命令
- ・3人逮捕... 特殊部隊がアカバト・ジャブルの理髪店を包囲
- ・占領軍がエルサレム旧市街の市民を逮捕
- ・イスラエル特殊部隊がベツレヘム中心部で青年を誘拐
- ・ハンガーストライキ中の囚人の数は7人に増加した。

### 8月10日

- ・イスラエルの裁判所、殉教者クサイ・マータンを殺害した入植者を釈放
- ・アル・イサウイヤの町での対立
- ・ナブルスで占領軍の銃弾に倒れる
- ・ヨルダン川西岸での逮捕 - 占領軍がヨルダン渓谷で車両2台を押収
- ・入植者がエルサレムの若者3人を暴行

### 8月11日

- ・ベツレヘム東部キサンの飲料水ネットワークを破壊する入植者たち
- ・数千人のイスラエル人がテルアビブでデモ
- ・占領軍、ダマスカス門地区の若者を逮捕
- ・ナブルス南部で若い男性が占領軍の銃弾により負傷した。
- ・ジェニン近郊で占領軍に発砲
- ・ギロで入植者を刺したベツレヘムの若者3人に対する起訴状

### 8月12日

- ・カフル・カドゥムの行進に対する占領軍の弾圧による金属弾による負傷と窒息
- ・ナブルス東部のベイト・ダジャン行軍に対する占領軍の攻撃による負傷者
- ・占領軍が監視カメラの記録を押収、ジェニン南部の村を襲撃
- ・占領軍がシルワンの町の若者を逮捕

### 8月13日

- ・占領軍がジェニンの若者を逮捕、他3人を拘束
- ・カフル・カドゥムでの占領軍との対立で子供と青年が負傷
- ・32週連続: 何万人ものイスラエル国民がネタニヤフ政権に反対するデモを行う
- ・ラマツラーの東にあるブルカ村を占領軍が襲撃
- ・ジェニンでの衝突、ヨルダン川西岸での対立と逮捕
- ・ジェニンで若者が占領軍の銃弾により負傷
- ・占領軍がダマスカス門地区の若者を逮捕

### 8月14日

- ・占領軍によるガザ北部への限定的な侵攻と南部での市民逮捕
- ・シン・ベトの主張兵士の誘拐と作戦実行を計画していたハマスの下部組織を逮捕した。
- ・セバスチャン遺跡のユダヤ人化計画が始まる
- ・アッバス大統領、エジプト大統領、ヨルダン国王の3者首脳会談がエジプトで開催された。

### 8月15日

- ・エルサレム... 占領軍がアルカーク一家に家屋取り壊しを強要
- ・アカバト・ジャブル・パリハ・キャンプで2人が占領軍の銃弾により死亡
- ・ガザ占領軍海軍は2人の漁師を逮捕し、彼らのボートを没収した。
- ・ウォッチ - 「アル・アヤシュ旅団」がジェニン西の入植地に向けてミ

## サイル発射を発表

- ・イスラエル当局、アル・アラキブを220回目の取り壊し
- ・占領軍は労働者に銃弾を撃ち込み、3人の女性を拘束し、ジェニンの村を襲撃した。
- ・ヘブロンで2人の囚人、ワリード・ダッカとアシフ・アル・リファイの即時釈放を求める抗議行動

## 8月16日

- ・ヤバド近郊で入植者が市民の車を石で攻撃
- ・占領軍海軍、ガザ北方の海で2人の漁師を逮捕
- ・占領軍がヨルダン川西岸地区の市民13人を逮捕

## 8月17日

- ・ナブルスでファタハ運動本部の家屋が爆破され、負傷者が出た。
- ・イスラエル特殊部隊がカタナから3兄弟を誘拐
- ・占領軍、トゥルカルム・キャンプの若者を軍の検問所で逮捕
- ・占領軍、ヘブロン南部の住宅、道路、施設の工事と建設の中止を命令
- ・ハンダラ」号、ガザ包囲網打破のための航海の第一段階を終了
- ・イスラエルはアル=パッサ・アル=マハルの歴史的建造物の取り壊しとブルドージを続けている。
- ・フワラ検問所でパレスチナ人が占領軍の銃弾により負傷
- ・ジェニンで占領軍の銃弾により殉教者1名、負傷者1名
- ・ヨルダン川西岸での逮捕 - 占領軍がナブルス北部のブルカの町を襲撃
- ・占領軍がベイト・ウンマルを襲撃、2人の若者を逮捕
- ・占領軍、ラマツラ東部のラス・アルティン・スクールを取り壊す

## 8月18日

- ・入植者のバスが通過すると同時に、占領軍はイッサウィヤを襲撃した。
- ・占領軍は、イスラエル人を刺したとされるヨルダン人青年の拘留を延長した。
- ・ヘブロンでパレスチナ少女を轢き殺そうとする入植者
- ・国連パレスチナ自治区で58校に取り壊しの恐れ
- ・占領軍がエルサレム総督の息子を逮捕
- ・占領軍、アル・アクサとシルワン周辺からエルサレム人5人を逮捕
- ・占領軍がジェニン市民を逮捕
- ・占領軍、ナブルス西の軍事検問所でトゥバスの市民を逮捕

## 8月19日

- ・対立：入植者たちがエリコの遺跡を襲撃
- ・入植者がファルカ村の土地からフェンスを盗む
- ・UNRWA、レバノンのアイン・アル・ヒルウェ・キャンプ内でのすべてのサービスを停止
- ・入植者、ファルカの土地からボランティアと連帯労働者を追放
- ・カフル・カドゥムのデモ行進鎮圧の際、占領軍の銃弾により10人が負傷した。
- ・ベツレヘムの東にあるトゥクの町で、入植者たちが家族を襲撃した。
- ・シルワン - エルサレム人の子供が入植者の銃弾で重傷
- ・アナタの町で若い男性が占領軍の銃弾により負傷した。

## 8月20日

- ・入植者がカフィンの自治体職員を襲撃
- ・占領軍がベイタのモスクと商店を襲撃
- ・入植者がエルサレム人の子供を暴行、アル・アクサの門でタルムードの儀式を行う
- ・占領軍、フワラの洗車場から市民3人を逮捕
- ・ナブルス南部での占領軍との対立による負傷者
- ・アルビレ北入口で入植者が市民の車を襲撃
- ・ナブルス南部で入植者が市民の車を襲撃
- ・シルワンのエルサレム総督邸占領軍が急襲
- ・占領軍はナブルスの南にあるアクラバの町の包囲を続けている。

## 8月21日

- ・イスラエル、ヨルダン川西岸南部に壁の新区画建設にゴーサイン
- ・占領軍がヘブロン市民を逮捕
- ・ナブルスの南、ビュリンの民家を襲撃する入植者たち

- ・占領軍、ヨルダン川西岸地区の市民10人を逮捕
- ・占領軍がヘブロンに通じる道路を閉鎖 - 銃撃で1人死亡、1人重傷
- ・ヘブロン：占領軍兵士がジャーナリストを襲撃、カメラマンを拘束
- ・占領政府の人種差別に抗議し、48の領土にストライキを拡大
- ・銃弾による負傷者6名 - ガザ東部で占領軍が銃撃と催涙弾を発射
- ・占領軍がエルサレムのシュアファト・キャンプを襲撃
- ・Beitaの占領軍の銃弾による負傷者8名

## 8月22日

- ・首都ダマスカス近郊を狙ったイスラエルの攻撃
- ・占領軍がヘブロン作戦の実行犯逮捕を発表
- ・負傷者と対立 - 占領軍が50人の市民を対象に逮捕キャンペーンを開始
- ・写真で見る... 占領軍がヘブロン市を閉鎖し続ける
- ・写真で見る：漁民に対する占領軍の暴挙の停止を求めるガザでのデモ
- ・占領軍がタムウン町の若者を逮捕
- ・ベイト・ウンマルでの対立による窒息

## 8月23日

- ・占領軍、ヘブロン東部のカルカスとアル・ファースのラウンドアバウトを取り壊す
- ・ヘブロン南部のトゥバ村で入植者による襲撃を受け、3人が負傷
- ・ナブルス北西で入植者が民家と車両を襲撃
- ・占領軍刑務所の囚人10人がハンガーストライキを継続中
- ・ナブルスのブルカで占領軍と対立し、数十人が金属弾で負傷、窒息した。
- ・占領軍、ヨルダン川西岸地区の市民21人を逮捕
- ・数十人の入植者がアル・アクサ・モスクを襲撃
- ・レバノンアイン・アル・ヒルウェキャンプのUNRWA学校付近で爆弾が爆発した。

## 8月24日

- ・彼らはビディヤを襲撃し、監視カメラの記録を押収した。
- ・ヘブロンの中のいくつかの地域で入植者による挑発的なデモ行進が行われた。
- ・対立と衝突占領軍がヨルダン川西岸地区の市民28人を逮捕

## 8月25日

- ・入植者がヘブロンの中の多くの村や町の入り口を閉鎖
- ・占領軍、ヘブロンの数箇所を襲撃
- ・占領軍、ラマツラの市民4人を逮捕
- ・占領軍がガザ東部で催涙弾を発射、市民2人の逮捕を発表
- ・ジェニン市民がナブルス近郊で入植者の襲撃を受け負傷
- ・ジェニンのいくつかの町や村が占領された。
- ・占領軍がエルサレムの若者を逮捕

## 8月26日

- ・毎週のカフル・カドゥムの行進に対する占領軍の攻撃の結果、窒息による負傷者が出た。
- ・ジャバ出身のエズディーン・カナーンという若者が、占領軍の銃弾に当たって死亡した。
- ・ガザ市東部のデモ隊に対する占領軍の弾圧で負傷者が出た。
- ・ジェニン占領軍はTaanak村を襲撃し、車両に物的損害を与えた。
- ・ヤバドで占領軍と対立
- ・トゥク町での占領軍との対立による窒息傷事件
- ・占領軍がジェニン西部で2人の兄弟を逮捕

## 8月27日

- ・ジェニンの南、“殉教者の三角地帯”の村が占拠される
- ・ナブルスの南、カスラの町を攻撃する入植者たち
- ・アル=マズラア・アル=ガルビヤで入植者が市民を襲撃
- ・34週連続：ネタニヤフ政権に反対する数万人のデモ
- ・ヘブロン南部と東部で入植者が市民の車を襲撃
- ・ベツレヘム西部で占領軍と対立し、窒息した。
- ・トゥルカルム収容所襲撃の際、占領軍の銃弾により5人が負傷
- ・占領自治体はシルワンの町を襲う



ムハマド・アサーフが今年に入って発表したガザをたたえる歌です。歌はyoutubeで検索すれば聴くことができます。

ああ、ああ、ああ、ああ、ああ、ああ、ああ、ああ、ああ、ああ、  
ああ、ああ、ああ  
ガザ、子供の頃から  
あなたの土地で。私はラビです。  
痛みを伴う患者  
、そして私はあなたに私の汚れを売ったわけではありません。私の汚れはあなたのものです。私

ああ、この歴史を書いてください、  
何が起こったのかについて  
自分。私はガザ人です。私の不屈の精神によって、このことわざは見事に当てはまりました。

ガザ、ガザ、ガザ、  
あなたは誇りの象徴です、  
ガザ、ガザ、ガザ。  
あなたは誇りの象徴です、  
ガザ、ガザ、ガザ、ガザ。

頭を下げろ、歴史よ。  
ガザがなければ、それを提起することはできません。  
私たちには子供がいます。その中で私たちは成長していきます  
古い。それは私のルーツです、そしてそれを根こそぎにしないでください、おお。私たちのガザはエルサレムのための寛大な精神を伴う不動の称号です。私たちのガザ

は、寛大な精神を備えた、エルサレムのための堅固さの称号です。 国境の壁がどれほど高くても、私の魂は自由であり、それを妨げません。

ガザ。 ガザよ、あなたは誇りの象徴です。 ガザ。 物語と夢が下から生まれます。 瓦礫のガザは、犯罪、スター、そして期待できるものと対峙しました ガザは自由のパレスチナ人であり、栄光の冠を持つ真珠です ガザは自由のパレスチナ人であり、栄光の冠を持つ真珠です ガザは日焼け、熟練の残り火、騎士道が分配されています

ガザ ガザ あなたは誇りの象徴 ガザ ガザ ガザ あなたは誇りの象徴 ガザ ガザ ガザ あなたは誇りの象徴 ガザ ガザ ガザ ガザ あなたの痛みはもっと大きい 文字のうち、誰も見たことがないし、見ることもできない、おお、縛られた良心 恐怖のあまり、ガザとその痛みが見えなくなった。 私たちは苦いものを飲み、火をつけました。 何が私たちを根こそぎにするのか。 千のハリケーン。 堅実な民。 何が崩れるか。 残りの建設者は、それを野生の獣によって育てられた土地に返します。 真実は失われたものの手の中にあります。 ある土地で。 野獣は甦り、真実は失われたものの手に握られます。 彼女は自分が苦痛の海に苦しんでいるのを見た。 叫びよ、世界よ、聞いてください

ガザ ガザ ガザは誇りの象徴 ガザ ガザ ガザ あなたは誇りの象徴 ガザ ガザ ガザ あなたは誇りの象徴



# おいしいパレスチナ チキン野菜スープ



このスープでは白身がしっかりしているので胸の部分を使うのが好きです。鶏肉を調理する前に皮を取り除くことをお勧めします。

このレシピでは、鶏肉の部分を省略し、野菜スープに置き換えることで、簡単にビーガンスープに変えることができます。

まず、カルダモンシード、シナモンスティック、または水に風味を与えるために数枚の玉ねぎのスライスのいずれかを入れて鍋で水を沸騰させます。沸騰し始めたら鶏肉を加えて数分間沸騰させ、その後火を中火に下げて鶏肉が柔らかくなるまで30分間煮ます。

鶏肉を鍋から取り出し、骨をすべて取り除き、小さく切って鍋に戻します。

刻んだニンジン、ジャガイモを加え、鶏肉とスープで15分間煮込み、刻んだズッキーニと生米を加えます。ズッキーニと米は調理に時間がかからないため、後で追加する方が良いです。鍋に蓋をして火を弱め、さらに30分ほど煮ます。塩、コショウ、カルダモンパウダーを加え、パセリのみじん切りを上に乗せます。

このレシピは3～4人分で十分です。

## 材料

鶏の胸肉 2枚

水 3カップ

カルダモンシード 2個、またはシナモンスティック 1本、または玉ねぎのスライス数枚

8オンスのみじん切りニンジン

8オンスの刻んだジャガイモ

8オンスのみじん切りズッキーニ

白米 1/4カップ

カルダモンパウダー 小さじ1/4

パセリのみじん切り 大きじ1～2

塩とコショウ

クックモード 画面が暗くなるのを防ぎます

## 説明書

4カップの水を沸騰させ、それにカルダモンシード2個、シナモンスティック1本、または玉ねぎのスライス数枚のいずれかを加えます。

水が沸騰し始めたら、鶏胸肉を加え、火を中火に下げ、蓋をせずに約30分煮ます。調理中に鍋の上に浮かんだ鶏肉から出る脂肪がある場合は、すべて取り除きます。

鶏肉が柔らかくなり、完全に火が通ったら、胸を鍋から取り出し、皮（早めに取り除かない場合）とすべての骨を取り除きます。胸肉を四角く切り、鍋に戻します。

刻んだニンジン、ジャガイモを加えて鶏肉と一緒に調理し、10～15分間煮てからズッキーニと米を加えます。鍋に蓋をして火を弱め、30分ほど煮ます。

塩、コショウ、カルダモンパウダーを加え、パセリを散らします。

火を止めて温かい状態でパンとレモンを絞りお召し上がりください。

## 守ろう！オリーブの木を カンパのお願い



### オリーブ畑再生基金の目的

土地を守ることは抵抗闘争である。  
パレスチナの農民の土地を守る闘い、  
生活を守る闘いを支援します。  
集まった基金は、パレスチナ農業  
労働委員会連合 (UAWC) に送ります。

### 郵便振替

記号番号：00960-2-303500番  
名称：オリーブの会 (オリーブノカイ)

### 他行等から振り込む場合

店名 (店番)：〇九九店 (099)  
預金種目：当座  
口座番号0303500



アル・ジャジーラのガザのチーフで家族を失い、ジャーナリストを目指していた息子を失い、自らも負傷し、報道を続けていたが、治療のためにエジプトに移送された



北部で。市民を拘束する占領軍、男はすべて拘束された。



ガザのサッカー場に集められた拘束されたガザ市民



ベツレヘムで1月17日に正教のクリスマスが行われた

## 今号の内容

国際法に訴えられたイスラエル	1
ガザには飢餓や人道危機は存在しないと主張	3
大量虐殺の意図を証明するのは難しくない	5
戦争の武器として飢餓利用に対する即時行動を	7
漁業部門に対する戦争の影響	9
パレスチナ日誌	11
パレスチナの愛した歌	14
おいしいパレスチナー	15
トピック	16



大阪駅での抗議行動



カタールで開催されたアジアカップで初戦に初めて勝利したパレスチナ



12月26日に立法議会議員であり、人民戦線の政治局員ジャラルさんが逮捕され、行政拘留に